



かたぐい

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく ～ えがお さいこう ～

令和6年度
第36号
10月11日

前期の終業式を迎えるにあたり、当たり前のことが当たり前のようにできたことをうれしく思っています。とてもよい前期になりました。子どもたちの「えがおさいこう」は、はなまる!でした。このような学校生活になるように子どもたちを学校へ送り出してくださった保護者のみなさんに、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

代表の二人の作文を紹介します。二人とも聞き取りやすいよい発表でした。また、全校のみんなの聞き方、座り方などの参加態度もとても立派でした



前期終業式

「えがお さいこう」は



前期にがんばったことと後期にがんばりたいこと

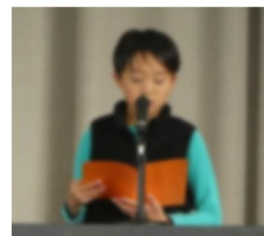
H.S

ぼくが前期にがんばったことは、くりっこフェスタでやった「ウラシマンタロウ」の劇です。ぼくは浦島太郎の役をやりました。最初はセリフが多くておぼえるのが大変でしたが、みんなとくふうしながら練習したら、どんどん覚えてきて、もっとスラスラ言えるようになりたいと思いました。それから最初は動きなしでやったら、おもしろくないとみんなが気づいて、動きをつけるようにしました。そしたらもっとおもしろくなってきました。どの場面でどんな動きをするかは、みんなで話し合って決めていきました。ぼくも自分で動きを考えたところもあります。かめに乗って竜宮星に着いたところで、「は～じめまして乙姫様」とあいさつをするところがありましたが、そのところは、ぼくも動きのアイデアを出して、本番でもやりました。

「は～じめまして 乙姫様～ 浦島太郎と申します～」

この部分の動きを考えました。本番はきんちょうしたけど、うまくできたのでよかったです。

後期にがんばりたいことは、ジャンプテストです。前期は満点賞をねらっていたのに、1回目だけ90点で、あとは全部100点だったので、くやしい思いをしました。後期は満点賞を取れるように、テスト勉強をがんばりたいです。



前期にがんばったことと後期にがんばりたいこと

G.T

ぼくが、前期にがんばったことは、3つあります。

1つ目は、国語です。どのようにがんばったかということ、真面目に先生の話聞き、わからないことは先生に聞いてしっかりわすれないようにしました。

2つ目は、身のまわりのことについてです。ぼくはこれまで、身のまわりの整理整頓をしていなかったのですが、5年生からはちゃんとしようと思い、つくえの引き出しを整理するようにしました。また、家でも身のまわりの整理整頓を心がけました。これからも続けていきたいと思っています。

3つ目は、一人勉強です。4年生のときは、1ヶ月に1、2回しか算数をやっていなかったせいで、計算のスピードがおそく、計算に時間がかかっていました。今年から、計算練習を週に3回するようにしたことで、計算のスピードがだんだん上がってきていると感じられるようになりました。

次に、後期にがんばりたいことです。後期にがんばりたいことは、3つあります。

まず1つ目は、忘れ物についてです。ぼくは、小学校に入ってから、忘れ物をすることが多くあります。今年は、4年生のときより少し忘れ物が減りましたが、まだ忘れ物をしてしまうことがあるので、必ず連絡帳にメモをしたり、目立つところに紙をはったりするなどの対策をとっていきたいです。目標は、忘れ物をなくし、だれかの目標になるような存在になることです。

2つ目は、ジャンプテストです。ぼくは、ジャンプテストで漢字も計算も苦手で、前期は合格賞をとれませんでした。合格できるようにするために、字を間違わないようにいねいに書けるようにしたいし、計算も、速く正確にできるようにしたいです。

3つ目にがんばりたいことは、委員会活動です。ぼくは、図書委員ですが、貸し出し当番をたまに忘れてしまい、6年生にまかせてしまうことがあります。また、貸し出しのために図書室にいても、本を借りる人に気がつかないくらい、自分の読書に集中してしまうこともあり、委員会の仕事をしっかりできていません。そのため、後期は、自分の当番を忘れないように気をつけ、貸し出し当番のときは、絶対に本を読まないように心がけたいと思います。

後期もいろいろなことをがんばっていきます。

